

国会議事堂 ～歴史を刻む政治の舞台～



参議院議員・薬剤師 本田顕子

国会見学できますか？

こうしたお問合せが少しずつ増えてまいりました。

1920年（大正9年）から16年余りをかけて建てられたドイツ様式の風格ある議事堂は、中央の玄関から向かって左側が衆議院、右側が参議院です。朝日に映える姿、夕日が照らす風景、どちらも素敵です。そして、高さ65メートルの中央塔がライトアップされた時の月夜の晩は心安らぐ癒やしの景色と出会うことができます。

1936年（昭和11年）から使われ始めた議事堂の中央広間には、板垣退助、大隈重信、伊藤博文3氏の銅像のほかに、銅像のない台座が置かれ、「政治に完成はない、未完の象徴」という意味が込められていると言われています。国会議員にとって「いつか自分が」との夢と決意のためでもあるように思います。歴史を感じさせるふかふかの赤絨毯は有名で、それにつまずくようになったら足腰が弱っている証拠だと先輩議員から教えていただきました。

また、議事堂は、医薬分業を法的に義務づけた「医薬分業法」をめぐる、1955年（昭和30年）、施行時期の延期に反対し、医薬分業の推進を求める薬剤師の先生方や薬学生の方々が全国から集結し座り込みを行った場所でもあります。

国会の見学や傍聴はどなたでもできます。

薬剤師の先生方が見学に来られたときに「自分たちのことがこの場で話し合われている」と喜ばれることもあります。開会中の第210回臨時国会では、感染症有事に備えるための改正法案をはじめ、生活者や関連業界にとって身近でかつ重要な多くの法案が審議されています。私たちの「職場」をぜひ体感なさってください。私の事務所でもご案内させていただきます。

参議院ホームページ 国会体験・見学（見学、傍聴のご案内）

<https://www.sangiin.go.jp/japanese/taiken/bochou/kengaku.html>

